

登録コード	HM111800	開講年度	2026				
授業題目	消化器・腎臓内科学特別研究					担当教員	上條 祐司 他
英文授業名	Research Thesis in Gastroenterology and Nephrology					副担当	長屋 匡信・木村 岳史
単位数	10	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					・研究を遂行し、データ解析ができるようになる。	
(2)詳細 /Detailed information	消化器疾患、腎疾患に関連して実際の研究を遂行し、論文作成に役立たせる。						
(3)授業の概要 /Overview of course	消化器疾患、腎疾患に関連して、研究の遂行や論文作成を実際に指導する。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。						
(4)授業計画 /Course plan	(木村岳史) 主に肝疾患を対象とし、免疫血清学的手法による病態解析や遺伝学的手法による背景因子の解析方法を指導する。さらに、臨床データを用いて、疾患の自然経過や治療効果を解析する方法を習得する。 (上條祐司) 主に腎疾患を対象とし、分子生物学的手法を用いた実験方法を指導する。さらに、病態や治療効果などを病理学的に評価する方法を習得する。 (長屋匡信) 主に消化管疾患を対象とし、形態学的所見により評価する研究手法を指導する。さらに、各種治療の効果や安全性の評価方法を習得する。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	毎回の小テスト30%と期末試験(筆記試験)70%を課す。 合格水準にあるのは「研究遂行、論文作成ができる」場合である。 「卓越している」場合は秀、「かなり上にある」場合は 優、「やや上にある」場合は良、「合格水準にある」場合は可となるが、それ以外は不可となる。						
(6)履修上の注意 ・事前事後学習 の内容・テキスト・教材・参考 書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/ Reference work(s)	必要な実験結果を準備しておくことが望ましい。						
(7)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	上條祐司 yujibeat@shinshu-u.ac.jp						
(8)授業の形式 /Course format	担当教員と相談をしながら行う。						